

人間は何度も五体満足で生まれること当たり前けれども、強制手術を受けさせたら二度と子供が生まれ、生めない体になってしまいます。その人は障害者と同じようになってしまう。私が聞こえるものから聞こえないものになってしまう。

ちゃんと耳ついてます。言ってることがわかりません。そのようなことと同じです。

国は不良な子供を作らないためだと言っています。

私から見れば、国はただの障害者を作っているということと同じだと思います。

昭和 22 年というのはまだまだ戦後すぐの時代です。それはわかります。

今の時代から見ると、本当に本当に国は簡単に障害者を作り出したということと同じです。

自分はそれと関わりがあるからわかります。

つまり、聞こえない私どもはそうなる手術を受けて重複障害といって障害を二つ受けることになります。

それを 60 年間我慢して頑張った、頑張っているいろんなことを乗り越えながら生きています。

私だけではありません。北さんも飯塚さんも飯塚さんも佐藤さんも同じです。

同じ悔しい気持ちを持っております。

今、今国や時代があって、今の人は幸いにも時代が変わりました。

しかし、私たちが心に受けた傷は人生生涯続きます。

そういう問題が起きているのをまた過去の問題でその心の傷を開くことになってしまう。本当に苦しいです。

それをきちんと国が考えてほしいと思っております。

日本の「美しい国」は、障害があるないかかわりなく、全ての人たちは平和で平等であるということが当たり前であるという考えです。

国が強制手術を受けさせた問題はきちんと謝罪をしてほしい。それだけです。

以上でございます。